

# 令和8年度 女性の職業選択に資する情報公表（女性活躍推進法第21条関係）

特定事業主名： 胎内市

令和8年7月31日公表

## I 職員の男女の給与の額の差異

### 1. 全職員に係る情報

| 職員区分              | 男女の給与の差異<br>(男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|-------------------|---------------------------------|
| 任期の定めのない常勤職員      | 87.5 %                          |
| 任期の定めのない常勤職員以外の職員 | 98.7 %                          |
| 全職員               | 72.1 %                          |

### 2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

- \* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号給であれば、同一の額となっている。

#### (1) 役職段階別

| 役職段階        | 男女の給与の差異<br>(男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|-------------|---------------------------------|
| 本庁部局長・次長相当職 | 0.0 %                           |
| 本庁課長相当職     | 95.7 %                          |
| 本庁課長補佐相当職   | 94.4 %                          |
| 本庁係長相当職     | 96.5 %                          |

#### (2) 勤続年数別

| 勤続年数   | 男女の給与の差異<br>(男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|--------|---------------------------------|
| 36年以上  | 99.2 %                          |
| 31～35年 | 95.8 %                          |
| 26～30年 | 91.8 %                          |
| 21～25年 | 94.8 %                          |
| 16～20年 | 101.2 %                         |
| 11～15年 | 96.5 %                          |
| 6～10年  | 92.6 %                          |
| 1～5年   | 89.9 %                          |

### 【説明欄】

- ・当市においては、本庁部局長・次長相当職に相当する職員がいない。
- ・本庁課長相当職は会計管理者、課長、議会事務局長、管理指導主事、指導主事。
- ・本庁課長補佐相当職は室長、参事、主幹。
- ・本庁係長相当職は係長、農業委員会事務局長、副主幹、園長、気象防災アドバイザー。
- ・勤続年数は、採用年度を勤続年数1年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。
- ・会計年度任用職員は、正職員の週当たりの勤務時間に対する比率で職員数を計算している。

Ⅱ 管理的地位にある職員に占める女性職員の割合

| 区分         | 令和 8 年度 |
|------------|---------|
| 管理的地位にある職員 | 5.6 %   |

【説明欄】

Ⅲ 各役職段階にある職員に占める女性職員の割合

| 区分          | 令和 8 年度 |
|-------------|---------|
| 本庁部局長・次長相当職 | 0.0 %   |
| 本庁課長相当職     | 5.6 %   |
| 本庁課長補佐相当職   | 20.7 %  |
| 本庁係長相当職     | 25.0 %  |

【説明欄】

- ・ 当市においては、本庁部局長・次長相当職に相当する職員がいない。
- ・ 本庁課長相当職は会計管理者、課長、議会事務局長、管理指導主事、指導主事。
- ・ 本庁課長補佐相当職は室長、参事、主幹。
- ・ 本庁係長相当職は係長、農業委員会事務局長、副主幹、園長、気象防災アドバイザー。

#### Ⅳ 男女別の育児休業取得率及び男女別の育児休業の取得期間の分布状況

##### 1. 男女別の育児休業取得率

###### (1) 常勤職員

| 区分 | 令和7年度  |
|----|--------|
| 男性 | 80.0 % |
| 女性 | 87.5 % |

###### (2) 会計年度任用職員

| 区分 | 令和7年度 |
|----|-------|
| 男性 | 0.0 % |
| 女性 | 0.0 % |

##### 2. 男女別の育児休業の取得期間の分布状況

| 区分            | 常勤職員   |        | 会計年度任用職員 |         |
|---------------|--------|--------|----------|---------|
|               | 男性     | 女性     | 男性       | 女性      |
| 1 週間未満        | %      | %      | %        | %       |
| 1 週間以上 2 週間未満 | %      | %      | %        | %       |
| 2 週間以上 1 月以下  | %      | %      | %        | %       |
| 1 月超 3 月以下    | 50.0 % | %      | %        | %       |
| 3 月超 6 月以下    | 50.0 % | %      | %        | %       |
| 6 月超 9 月以下    | %      | %      | %        | 100.0 % |
| 9 月超 12 月以下   | %      | 14.3 % | %        | %       |
| 12 月超 24 月以下  | %      | 85.7 % | %        | %       |
| 24 月超         | %      | %      | —        | —       |

##### 【説明欄】

- ・女性常勤職員の残り 12.5%については、同年度に育児休業を取得していないため次年度にカウントする。
- ・男性常勤職員の残り 20%については、育児短時間勤務を取得している。
- ・女性会計年度任用職員について、前年度に出産した職員はいないが、育児休業を取得した職員がいるためカウントする。

## V 職員の勤務時間の状況

管理的地位にある職員以外の職員一人当たりの一月当たりの正規の勤務時間を  
超えて命じられて勤務した時間

| 区分      | 令和7年度     |
|---------|-----------|
| 内部部局等   | 10.0 時間／月 |
| 内部部局等以外 | 4.0 時間／月  |

### 【説明欄】

- ・令和7年度中に選挙が3回執り行われたことや災害、クマ対策等の対応によるものが要因と考えられる。